議案第67号「令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」

1. 教科用図書採択の概要説明

- ・ 「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定に従い、海津市教育委員会として毎年度採択することとなること。
- ・ 海津市教育委員会は、県が定めた共同採択地区の教育委員会が設置する協議会である「岐阜県教科用図書西濃地区採択協議会」に所属しており、地区内の市町教育委員会は、同一の発行者の教科用図書を採択することとなっていること。
- ・ 同協議会における令和2年度使用教科用図書の調査研究結果と協議された採択原案を踏まえつつ、海津市教育委員会として採択する教科用図書を協議・議決すること。
- ・ 令和2年度使用中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」）については、令和元年度に使用している教科用図書と同一の教科用図書を採択すること。

2. 西濃地区採択協議会での協議内容の説明

- ・ 西濃地区採択協議会で示された調査研究報告資料に基づき、採択原案となった教科用図書が選ばれた理由を中心に説明。
 - 国語：光村図書 学習の手順が、児童に分かりやすい言葉で記されている。学習活動についての説明や具体例が手順に対応して示され、児童が主体的に学びを深めること、読書に親しむことができるように配慮されている。
 - 書写：東京書籍 必要な知識・技能を「書写のかぎ」として設定している。また、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」という学習の流れを明確にして、資質・能力をバランスよく身に付けられるよう配慮されている。
 - 社会：東京書籍 単元を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」で構成し、全時間の役割を明示し、見通しをもって学習できるように工夫されている。郷土の資料を身近なものとして自分たちの生活と関連づけながら学習できるようになっている。
 - 地図：帝国書院 地図のしくみや活用の仕方が身に付く作業的な学習が位置付けられ、地図を活用する知識・技能を習得することができるように工夫されている。資料図や都市圏図等が豊富で学習状況に応じて学習を進められるように配慮されている。
 - 算数：大日本図書 式や図を読み取る活動や友達の発言に付けたしをする様子、解決方法を比較検討する様子などが示され、対話的な学びを促し、学びが深まるよう配慮されている。系統的にプログラミング的思考を身に付けるよう配慮されている。
 - 理科：東京書籍 単元の導入では児童自ら課題意識をもつことができるよう、学習内容に関わる体験や写真などの資料が位置付けられている。対話の具体例が示され、児童が多様な考えを出し合いながら問題解決できるよう配慮されている。
 - 生活：東京書籍 イラストの人物の吹き出しや表現作品等で、知識・技能に関すること、思考力・判断力に関すること、学びに向かう力に関することが示されており、

見直しをもって、資質・能力の3つの柱を育成できるように工夫されている。

○音楽：教育芸術社 「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の4つの分野がバランスよく配置されている。児童の発達の段階に応じて、音楽的な見方・考え方を働かせ発達の段階に応じて系統的に学習を積み重ねていくことができるよう配慮されている。

○図画工作：日本文教出版 技法や用具の扱い方について児童が段階的に身に付けていけるよう、発達の段階に基づいて各学年の題材がバランスよく配置され、系統性・発展性が考慮されている。吹き出しや思考を促すコメントが随所に挿入されている。

○家庭：東京書籍 全題材が問題解決的な学習が行える構成で展開され、見直しをもって学びを深め、実生活に活用できるよう工夫されている。売買契約の基本的な知識や態度、消費者の役割について学ぶことができるよう配慮されている。

○保健：東京書籍 学習過程が「気づき」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、児童の主体的な学びを促す工夫がされている。安全に関する内容や心身の健康に関わる写真や資料が豊富にある。

○英語：東京書籍 主体的に学習できるよう4技能5領域が満遍なく配列され、特に5領域の力をバランスよく身に付けられるよう、全単元が同じ指導過程で配列されている。英語を専門としない教師にとっても指導しやすいよう配慮されている。

○道徳：光文書院 巻頭にオリエンテーションを配置している。どの教材でも、児童が常に「問い」をもって授業に臨むことができるように工夫されている。1学年からスマートフォン等の情報機器を使うときの約束について学べるよう配慮されている。

- ・ 令和2年度使用中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）については、新たに検定を合格した教科書がないことから、前回の調査研究結果をもとに採択原案が選定されたこと。

3. 意見等

- ・ 採択にあたり教科書の重さは、考えられているか。→ 考慮されています。
- ・ 生活科にも教科書があることがわかった。英語の教科書は、5年生・6年生だけか。→ 英語の教科書は、5年生・6年生だけです。
- ・ 考え方や進め方等がわかりやすい教科書になっているところはよいが、丁寧すぎるという印象もある。
- ・ 理科の教科書は、表紙が素敵で今までの教科書にないデザインだと思う。そういった点も魅力的に感じる。
- ・ 気づきを促したり「なぜだろう」「どうしてだろう」と考えられるようになっていたりして、工夫されているところがよいと思う。
- ・ 先生が指導しやすい教科書であるという点も大切だと思う。
- ・ QRコード等がどの教科書にもあることがすごい。特に英語では、発音や会話がQRコード等を利用することで聞けるのがよいと思う。
- ・ 道徳でスマートフォンの取り扱いを1年生から考えることはよいと思う。

4. 議決

- ・ 西濃地区採択協議会の採択原案のとおり採択することを議決する。